

様式1

## 平成30年度 全期 事業評価書

評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日分
施設名	仁風閣・宝扇庵
指定管理者名	公益財団法人 鳥取市文化財団
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
施設所管課名	教育委員会事務局文化財課

## 1. 事業評価

確認する内容	指定 管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
<b>I. 公共サービスの実施状況</b>				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	4	4	聞き取り 書類	指定管理者提案事業(明治ルネッサンスプロジェクト)への取組を本格化している。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	4	3	聞き取り	日々の業務から発見された改善点などを朝会や現場で共有しスキルアップを図っている。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	4	3	聞き取り	施設利用要項に基づく基本ルールを作成し、説明のうえ利用許可を出しており、苦情も発生していない。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	城跡周辺の活性化を目標とし、展示「甦る鳥取城」や鳥取城講座を始めとした城跡イベント・解説などを実施し、鳥取城の知名度向上に従事している。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	3	聞き取り 書類	来館者アンケートを行い、概ね良い意見を頂いている。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	瑞風観光立寄りを始めとした県外へのPRによって利用者拡大を図っている。またプライダル関係の利活用について新たにPR活動を進めている。
<b>II. 施設の維持管理の実施状況</b>				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り 書類	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り	異常が見られたときは速やかに対処できる体制をとっている。
<b>III. 施設の経営状況</b>				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り 書類	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞き取り	

IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞き取り	
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞き取り	
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	4	3	聞き取り 現地確認	掲示板を活用し半期毎に公開している。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。
24	市への報告体制が確立されているか	4	3	聞き取り	毎月入館者数及びアンケート内容を事務局経由で市へ報告している。点検異常・毀損等速やかに報告している。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	3	聞き取り	リスク・危機管理マニュアル、緊急連絡先を、職員がいつでも確認できる場所に設置し、有事に対応できる体制としている。全職員の名札の裏に「緊急時の行動」表を入れ緊急時に備えている。このことについては、所管課としては、通常の業務の範囲と考える。

## 2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定管理施設の横の連携を図り、人事、財務ともに適正に推移している。</li> <li>2. 各施設とも入館者増に努め、平成30年度は全施設合計入館者数が過去最高を記録した。</li> <li>3. 年々入館料等の自主財源が減少してきており、補助金、委託料等の財源確保が課題となっている。</li> <li>4. 各施設とも施設の老朽化、展示、設備の陳腐化・故障が進んできているため、鳥取市との連携を密にし改善に努めていきたい。</li> <li>5. ホームページやFacebookなどを活用した新たな広報を行うとともに、鳥取県中部や兵庫県西部にも広報を行うことにより、入館者増加に努めた。</li> <li>6. 鳥取市内の小・中学校との連携を図り、学習指導要領に基づく博物館等施設の活用を促進した。</li> </ol>
施設所管課	指定管理者は、公益財団法人として指定管理施設の管理運営業務を公益目的事業として行っている。全体でみれば収支は安定して推移しており、経営状況に大きな問題はないと見られる。しかし、各施設の収支を見ると、計画(予算)及び実績(決算)で収支のバランスが崩れており、各施設の今後の指定管理による経営を考えれば、改善する必要があると思われる。

## 3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	各種コンサート、鳥取城講座、瑞風ツアーなど従来からの活用事業を初め、指定管理者提案事業「明治ルネッサンスプロジェクト」への取組のひとつとして人力車定期運行を新たな試みとして始めた。各種事業の実施を通して、利用者の拡大、満足度の向上維持、及び今後の誘客に繋がる広報活動にも努めた。
施設所管課	重要文化財仁風閣の魅力を活かした各種講座やコンサート、体験イベントなどの自主事業に多彩に取り組み、まさに利用者の拡大と満足度向上に効果を上げている。人力車定期運行という仁風閣ならではの新規事業にも取り組み、観光客の誘致にも繋げている。今後も仁風閣らしい活用に取り組んでもらいたい。

## 4. 総括コメント

指定管理者	国指定重要文化財として適切な維持・管理に努めるとともに、鳥取城跡に関する講座・展示を行い、城跡の知名度向上を図った。利用者の増加・満足度の向上につながるイベント・広報活動等の実施を心掛け、結果として、各種媒体・施設評価専門誌等で高い評価をいただいた。
施設所管課	史跡鳥取城跡にある重要文化財施設として、仁風閣に関する各種事業だけでなく、鳥取城跡に関する講座等も実施したり、指定管理者提案事業の新たな取り組みとして人力車の定期運行を始めたりして、仁風閣や鳥取城跡の利用者拡大や新たな魅力アップに繋げている。仁風閣の大規模修繕や保存活用については、次年度以降の課題である。

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている





## 【資料2】

施設名 仁風閣・宝扇庵

## 1. 施設利用者数

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
入館者数(人)	39,000	39,097	38,500	42,578	41,000	37,975				
会議室(件)		104		119		114				
宝扇庵(人)		1,527		1,089		1,398				

## 2. 事業収支

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料	18,974,000	18,974,000	18,974,000	18,974,000	18,974,000	18,974,000	18,974,000		18,974,000	
事業収入	990,000	606,332	990,000	2,386,500	990,000	2,065,191	990,000		990,000	
入館料収入	2,450,000	2,938,370	2,450,000	3,172,753	2,450,000	3,149,610	2,450,000		2,450,000	
使用料収入	478,000	339,850	478,000	371,950	478,000	365,100	478,000		478,000	
補助金収入	0	436,212	0	0	0	210,600	0		0	
その他収入	0	57,774	0	50,826	0	24	0		0	
収入計(A)	22,892,000	23,352,538	22,892,000	24,956,029	22,892,000	24,764,525	22,892,000	0	22,892,000	0
支出計(B)	22,892,000	18,330,861	22,892,000	20,246,299	22,892,000	19,970,758	22,892,000	0	22,892,000	0
事業収支A-B	0	5,021,677	0	4,709,730	0	4,793,767	0	0	0	0